



鶴小ICT通信

令和4年3月14日 第9号



学校課題研究②

Active

学びを活性化する

Adaptive

学びを最適化する

Assistive

学びを支援する

11月に続き、第二回授業研究会・研究協議会を実施しました。今回は4年2組の図工の授業で、友達の商品を見合う鑑賞の学習を行いました。SKYMENUの発表ノートを活用し、友達の商品をじっくり見たり、感想をまとめて共有したりしました。また、授業後には教職員でICTの活用についての協議をしたり、指導者に講話をいただいたりしました。

1人1台タブレット端末が本格的に導入されて一年、子供達にとっても教職員にとっても、新たな発見と試行錯誤の繰り返しではありましたが、多くの効果的な活用方法を通してよりよい学びにつなげることができました。次年度以降も研修を重ね、子供達とともに成長してまいりたいと思います。

授業研究会・研究協議会の様子 4年2組 図工

今回の授業研究会は、4年生の図工の授業で実施しました。題材は「ほってすって動物発見」です。子供達にとって身近な生き物である動物を、初めての彫刻刀を使って表現する学習です。また、インクをつけて写し取った後、水彩絵の具で色付けをすることで、木版ならではの質感に、色の重なりやグラデーション等が加わり、見た目にも鮮やかな作品に仕上がります。この日は、完成した作品を子供達同士で鑑賞する学習でした。タブレット端末のカメラ機能を用いて友達の商品を撮影し、作品の特徴を捉えてまとめました。SKYMENUの発表ノートにまとめることで、作品と鑑賞シートが一つになり、より具体的に鑑賞するとともに、ほかの友達の気づきを共有しながら深い学びへとつなげることができました。

また、この日の授業研究会では、教室の様子を他の教室へライブ中継し、参観している教職員によって教室が密にならないようにして行いました。

授業後の研究協議会では、これまでの実践や今回参観した授業について、教職員で振り返り、今後の授業をよりよくしていくための話し合いが行われました。また、指導者からの講話もありました。「ICT機器等を用いて効率よく学習を進めること」と「立ち止まって考えること」の両面から教育を捉え、実践していくことの大切さについて考える機会となりました。今後も、自ら気づき、考え、進んで活動する児童の育成に努めてまいりたいと思います。

